学校番号	206

令和２年度　理　科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	地学基礎（啓林館）						
副教材等	２０２０　セミナー　地学基礎（第一学習社）・ビジュアル地学基礎（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

固体地球、地球と生命の進化、気象、天文分野と地学で扱うものは非常に範囲が広いです。また、数式はあまり多くは出てきませんが、それを理解するのに、物理的、化学的なものの考え方が必要なものもあります。ただ憶えるだけでなく、内容をしっかり理解したうえで憶えるという姿勢で取り組んでください。

2　学習の到達目標

固体地球、地球の歴史、気象、宇宙と広汎な世界を扱い、単なる知識の習得にとどまらず、それら自然現象のもととなる基本概念や原理、法則を理解し、自然を探求する能力を身につけさせる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら天文・気象を含む地学現象について関心をもち，意欲的に探究しようとするとともに，科学的な見方や考え方を身に付けているか。	天文・気象を含む地学現象に関する事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現することができたか。	天文・気象を含む地学環境に関する演習・実習などを行い，基本的なデータ処理等の手法の習得を通して、天文・気象を含む地学現象を探求する技能の基礎を身に付けることができたか。	天文・気象を含む地学現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けているか。
評価方法	学習状況の観察 授業ノートの記述 演習（探究活動） ノートの記述 演習（探究活動） ノートの発表	学習状況の観察 授業ノートの記述 演習（探究活動） ノートの記述 演習（探究活動） ノートの発表 定期考査	学習状況の観察 授業ノートの記述 演習（探究活動） ノートの記述 演習（探究活動） ノートの発表 定期考査	学習状況の観察 授業ノートの記述 演習（探究活動） ノートの記述 演習（探究活動） ノートの発表 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期　中間	固体地球とその変動・移り変わる地球	1　地球内部の層構造 2　地球内部の構造 3　プレートテクトニクスと地球の活動 4　地震 5　火山活動と火成岩の形成 6　1～5の探究活動 6　地球史の読み方 7　地球と生命の進化 8　6～7の探究活動		○		○	a:学習内容１～９に関して，どのような方法で調べたのか，また，どのようなことが分かっているのかについて興味を持って意欲的に学習に取り組もうとする。 b:学習内容１～５の探求活動及び６～７の探究活動で行った調査結果の報告ができる。 （プレゼンテーション又は演習ノートへの記入） c:学習内容１～７に関して，どのような方法で調べたのかを知る。 d:学習内容１～７に関して，概要をつかむことができる。	授業態度 プレゼンテーション ・ 演習ノート 授業ノート 定期考査
前期　期末	大気と海洋	1　大気の構造 2　太陽放射と大気･海水の運動 3　日本の天気 4　1～4の探究活動		○		○	a:学習内容１～３に関して，どのような方法で調べたのか，また，どのようなことが分かっているのかについて興味を持って意欲的に学習に取り組もうとする。 b:学習内容１～３の探求活動で行った調査結果の報告ができる。 （プレゼンテーション又は演習ノートへの記入） c:学習内容１～７に関して，どのような方法で調べたのかを知る。 d:学習内容１～７に関して，概要をつかむことができる。	授業態度 プレゼンテーション ・ 演習ノート 授業ノート 定期考査

後期中間	宇宙の構成	1 太陽系と太陽 2 恒星としての太陽の進化 3 銀河系と宇宙 4 探究活動		○		○	a:学習内容１～３に関して，どのような方法で調べたのか，また，どのようなことが分かっているのかについて興味を持って意欲的に学習に取り組もうとする。 b:学習内容１～３の探求活動で行った調査結果の報告ができる。 （プレゼンテーション又は演習ノートへの記入） c:学習内容１～３に関して，どのような方法で調べたのかを知る。 d:学習内容１～３に関して，概要をつかむことができる。	授業態度 プレゼンテーション ・ 演習ノート 授業ノート 定期考査
後期期末	自然と共生	1 地球環境と人類 2 火山・地震災害と社会 3 気象災害と社会 4 人間生活と地球環境の変化 5 実習「ハザードマップの見方」・「オゾンホールの面積の経年変化」	○		○		a:学習内容１～４に関して，どのような方法で調べたのか，また，どのようなことが分かっているのかについて興味を持って意欲的に学習に取り組もうとする。 b:学習内容１～４に関する５の実習で行った作業報告ができる。 （プレゼンテーション又は演習ノートへの記入） c:学習内容１～４に関して，どのような方法で調べたのかを知る。 d:学習内容１～３に関して，概要をつかむことができる。	授業態度 プレゼンテーション ・ 演習ノート 授業ノート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:　観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。